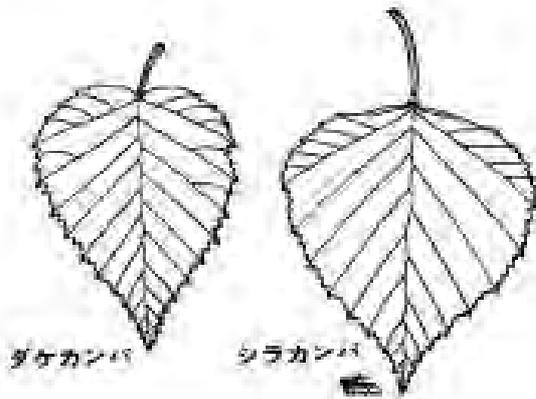


ダケカンバとシラカンバの葉

山を登ってゆくと、麓にあるのがシラカンバで真白の肌，樹木限界にあるのがダケカンバでやや黄褐色をおびた白い肌をしている。と書けば問題はないのだが，どちらも平地にも生育し，混交さえしている。垂下した果実をみれば，両者の区別は明白なのだが，いつでもどこでも果実はみられない。そこで，葉身の形と側脈の数（大きいものだけ）で区別することになる。大ざっぱの区別では，これで十分のようである。



	葉身	側脈数
ダケカンバ	卵形～だ円形	7～9 対
シラカンバ	三角形～広卵形	6～7 対

(道北分場 斎藤新一郎)